

動物愛護推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部健康医療局	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代					
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度		
事業実施方法	委託、補助金					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	1/2~1/4															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 個性を伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現]				関連する県の計画等		[第3次福井県動物愛護推進計画]									
[解決すべき問題・課題] 県民への動物愛護思想の浸透や適正飼養の啓発						[問題・課題を表す客観的データ] 動物に関する苦情数(令和5年度) 469人										
[事業目的] 動物を「命あるもの」として大切に作る動物愛護思想の浸透や、生涯にわたって適正に飼養することを啓発し、「人と動物が健康で明るく共生する幸福で暮らしやすい福井」を目指す。																
[事業内容] ① こども園や児童館、小学校等に出向き「命の大切さ」を学ぶ動物愛護教室の実施 ② センター収容犬猫とのふれあいや飼養体験を通じて「命を守る責任」について啓発 ③ センター屋外施設(ドッグラン・多目的広場)等における犬のしつけ教室の実施 ④ 市町における飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成事業の維持 ⑤ 不妊去勢手術対象猫の保護・運搬・見守り事業の委託 ⑥ 動物愛護推進員向け研修会の実施 ⑦ 災害対策に関する研修会の実施																
[受益者] 動物愛護センター利用者						[想定される受益者数] 4,500人(センター利用者4,000人、出張動物愛護教室500人)										
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 動物愛護管理委託事業 動物愛護センター運営費 (役割分担) ・犬猫の保護、引取、飼養管理、返還、譲渡、苦情対応、飼い主講習会、適正飼養指導など								
市町との連携状況		・市町および福井県獣医師会との間で、県の動物愛護施策等に関する動物愛護担当者研修会を実施 ・市町の施設を利用して、動物愛護パネル展、犬猫譲渡会、動物愛護教室等を実施				他県の状況										

動物愛護推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部健康医療局	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代				
事業主体	県、市町					事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	年度
事業実施方法	委託、補助金						経過年数	6 年							
補助率	1/2~1/4														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	6,138			(諸収入) 523	5,615	福井市からの受託収入									
[予算額の推移等]												(単位：千円)			
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移		939	2,572	6,029	5,778	6,138	災害対策に関する研修会の実施による								
2月現計予算額の推移		939	2,572	6,029	6,286										
決算額の推移		938	2,519	2,308											
前年度までの 主な増減理由	令和4年度：動物愛護施策の検討にかかる実態調査 令和5年度：不妊去勢手術助成														
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	犬猫とのふれあい体験およ び動物飼養体験 (目標)	(300)	(600)	(600)	(600)	(600)	(600)	(600)	犬猫とのふれあい体験および動物飼養体験 (600人/年間)						
	実績	568	584	478	607										
活動指標	犬猫とのふれあい体験およ び動物飼養体験の開催回数 (目標)	(12)	(24)	(24)	(24)	(24)	(24)	(24)	年24回以上実施						
	実績	26	24	23	22										
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
・607人参加/22回開催 (R7.2月末時点) ⇒保護猫に関して報道するメディアが増え、世間からの注目が高まった。 ・すでに成果指標は達成されており、活動指標も達成見込である。								<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

獣医師採用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部健康医療局	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代		
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化]				関連する県の計画等		[]						
[解決すべき問題・課題] ・平成27年以降県庁獣医師の応募割れの状況が続いている ・令和6年度、4名の定数割れにより職員の負担が増加 ・職員が40代以上が半数以上であり、若手職員が少数						[問題・課題を表す客観的データ] ・過去13年 (H24~R6) で10名の職員が自己都合退職 ・うち8名が過去5年度間で退職 ・過去5年度間で退職した8名のうち4名が勤務内容が希望と合わないことを理由に退職							
[事業目的] 県庁における獣医師の採用について、令和4年度に創設した「お試し勤務制度」の会計年度任用職員採用に加え、県外出身者を対象にお試し勤務中の滞在の支援を行うことで、採用活動のさらなる強化を図る。													
[事業内容] 県外出身学生や社会人獣医師を対象に、お試し勤務制度で県内に滞在するための宿泊場所について、最大で1か月分を支援する。(滞在場所の借上げ)													
[受益者] 県外から福井県へのお試し勤務制度利用者						[想定される受益者数] 4名							
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況						他県の状況							

獣医師採用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部健康医療局	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	840				840									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					840	840								
2月現計予算額の推移					840									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由	R6より健康福祉部政策推進グループから移管													
[成果指標等の推移]														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	獣医師採用数(制度利用者) (目標) 実績			0	0			(4)	令和6年度末現在、定員39名に対し職員数35名(充足率89.7%)のため、職員数4人増を目指す。					
活動指標	「お試し勤務制度」利用者 (目標) 実績			(4) 5	(4) 3		(8)	(16)						
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
・3人の獣医学部生が制度を利用した。活動指標はR7.3月末に確定。 ・参加者に6年生が1人いたが、国外大学の学生であり、国内での就職活動は令和7年度からしか行えない。昨年度以前の利用者で就職活動に差し掛かっている学生もいないため、成果指標における実績はない。				県外出身者からの応募が多かったため、引き続き獣医学部への周知活動を積極的に実施し、活動指標の達成を図っていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

浄化槽設置整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部健康医療局	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代								
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	S63 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度							
事業実施方法	補助																		
補助率	1/3																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 住みやすさを高める(地域力)]																		
	政策 [15 豊かで美しいふくいの環境の継承]																		
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]													
し尿と生活排水を併せて処理する合併浄化槽を整備することにより、公共用水域の水質汚濁を防止し、県民の快適な生活環境の保全および公衆衛生を向上させる必要がある						汚水処理人口普及率：97.8%(令和5年度末) 2025年度末見込 99.3% (河川課：福井県内の汚水処理施設整備の現状と見通し2019)													
[事業目的]																			
し尿と生活排水を併せて処理する浄化槽を計画的に整備することにより、公共用水域の水質汚濁を防止し、県民の快適な生活環境の保全および公衆衛生の向上に寄与する																			
[事業内容]																			
○市町が行う合併浄化槽設置整備事業（浄化槽設置者に対する設置費用の助成）に補助する。 事業主体 市町（一部事務組合を含む。） 補助率 補助基準額と市町が補助した額を比較していずれか少ない額の1/3 対象浄化槽 浄化槽および20人以下かつ高度処理型の変則浄化槽（ただし、国の交付金を受けたものに限る。） 補助基数 214 基 補助金の交付 浄化槽の設置に要する経費のうち社会的便益に相当する分（4割）に対して補助する。 また、単独浄化槽、くみ取り便槽から合併浄化槽への転換に係る単独浄化槽、くみ取り便槽の撤去および宅内配管工事費に対して補助する。																			
[受益者] 浄化槽整備区域内の未普及地域に住む県民						[想定される受益者数] 1,376人													
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)												
市町との連携状況	市町も県と合わせて1/3補助する。					他県の状況	39自治体で実施（令和4年度末時点）												

浄化槽設置整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部健康医療局	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代		
事業主体	市町					事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	S63 年度 経過年数 38 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	補助												
補助率	1/3												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	21,062				21,062								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		24,631	20,688	26,426	25,411	21,062							
2月現計予算額の推移		21,247	20,048	25,343	14,594								
決算額の推移		17,688	14,063	14,135									
前年度までの主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ R3 → R2のコロナ感染症拡大による設置基数減の反動による増加。 ・ R5 → 国の交付金補助基準額の一部改正に伴う増加。市町からの要望額の増加。 											
[成果指標等の推移]													
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	汚水処理人口普及率 (目標) (%) 実績	97.6 97.1	98.1 97.4	98.6 97.8	98.9	99.3	R7:99.3	100.0	汚水処理人口普及率=汚水処理人口/行政人口 (汚水処理人口は下水道や集落排水等も含むため、浄化槽のみの成果指標の目標設定は困難)				
活動指標	補助金合併浄化槽基数 (目標) 実績	(172) 106	(151) 85	(176) 80	(172)	(139)			毎年、市町からの要望を受けて補助設置基数を積算				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
・成果目標はほぼ達成している。 ・浄化槽工事に係る費用が高騰している影響等により、合併処理浄化槽への転換が進まなかった。 汚水処理人口普及率 R5: 97.8% R6: R7.8月末に確定 補助浄化槽基数 R6当初: 172基 R6実績: 4月上旬に確定 (参考: 住宅着工統計における県内新設住宅着工数 R6(12月末時点) 2,752件、R5 3,936件、R4 4,720件)				引き続き、市町に対して制度利用を促していく。				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	4,349		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

薬剤師確保対策事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部健康医療局	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代										
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	■ 実行予算	事業 区分	■ 補助金	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度								
事業実施方法	委託																				
補助率	—																				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 住みやすさを高める(地域力)] 政策 [14 誰も取り残されない安心の医療・介護・福祉の充実]					関連する県の計画等		[医療計画、医療費適正化計画]													
[解決すべき問題・課題] 県内に勤務する薬剤師の確保を図る。						[問題・課題を表す客観的データ] 県内薬剤師数 (R4.12末現在) 1,500人 人口10万人当たり199.2人 (全国平均259.1人) [うち医療施設・薬局の従事者163.6人 (全国46位)]															
[事業目的] 薬学部進学者を増やすと同時に薬学生の県内就職を促進することで、県内に勤務する薬剤師の確保を図る。																					
[事業内容] (1) 薬学生の県内就職促進 ・本県出身薬学部生1～3年生を対象とした福井県のふるさと実習制度および職場説明会の実施 ・本県出身薬学部生に福井県内の研修事業の紹介資料、県内就職先、奨学金事業資料等の直接郵送による魅力発信 (Uターン) (2) 薬学部進学者の確保 ・高校生を対象とした進学説明会の実施 ・「薬剤師出前教室」による薬剤師職紹介教室の実施 (公民館、児童クラブ等) ・中高校生向けの薬剤師職紹介パンフレット作成・配布、職場体験・見学会の実施 ・「くすりと健康フェア」イベントにおける薬剤師職の紹介 (3) 薬剤師の資質向上 ・薬局薬剤師に対する高度薬学的管理 (がん薬物療法等) およびハイリスク薬に関する研修会																					
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人															
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (役割分担)		事業名 薬剤師確保奨学金支援事業											
市町との連携状況						他県の状況		石川県：実施なし 富山県：就職説明会(病院薬剤師会に補助 地域医療介護総合確保基金) 中高生対象にお仕事体験、中高生とその保護者向け説明会 和歌山県：復職支援事業(県薬剤師会補助 地域医療介護総合確保基金) 滋賀県：人材確保事業(新卒者向け)、女性薬剤師の働きやすい環境整備 事業(復職支援) (地域医療介護総合確保基金)													

薬剤師確保対策事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部健康医療局	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H26 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,562			(繰入) 3,562		地域医療介護総合確保基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		1,336	1,476	2,128	2,816	3,562	ふるさと実習制度および職場説明会の実施					
2月現計予算額の推移		1,336	1,476	2,128	2,816							
決算額の推移		1,336	1,476	2,127								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	薬局・医療機関従事薬剤師数 (目標)	(1,208)	(1,228)	(1,248)	(1,268)	(1,288)	(1,269)	(1,589)	H30年度までの三師調査の結果から推計 実績は三師調査(2年に1回)の数値			
	実績	-	1,232	-								
活動指標	訪問・セミナー参加大学 (目標)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	北陸地区および近畿地区の薬学部			
	実績	1	2	10	10							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・成果指標については、調査が2年に1回実施であり、R6実績はR8.3月下旬に公開予定のため、次年度に評価を実施する。 ・大学訪問・セミナー参加大学においては活動指標の目標を達成した。				本県出身薬学部生1～3年生等を対象とした福井県のふるさと実習制度および職場説明会を新たに実施することで薬局・医療機関従事薬剤師数の増加を図る。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

薬剤師確保奨学金支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部健康医療局	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代								
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度							
事業実施方法	支援																		
補助率	—																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 住みやすさを高める(地域力)] 政策 [14 誰も取り残されない安心の医療・介護・福祉の充実]				関連する県の計画等		[]												
[解決すべき問題・課題] 県内の地域の公立病院に勤務する薬剤師の確保を図る。						[問題・課題を表す客観的データ] 病院における求人数に対しての採用充足率(アンケート調査) R3:32.1% R4:38.7% R5:28.3%													
[事業目的] 薬学生および薬剤師に奨学金貸与や奨学金返還支援を行うことで、県内の地域の公立病院に勤務する薬剤師の確保を図る。																			
[事業内容] (1) 貸与対象 【薬剤師確保奨学金返還支援事業】 ① 6年制大学薬学部 ^{に在籍し、募集年度に卒業予定。または既に県外大学等を卒業し、県外在住の薬剤師} ② 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金(第1種・第2種)または福井県奨学育英基金の奨学金の貸与を受けており、将来返還予定、または返還中である薬剤師 【薬剤師確保修学資金貸与制度】 6年制大学薬学部の5年生または6年生 (2) 貸与人数 若干名(積算は5名) (3) 貸与金額 800千円/年(最大6年)(※薬剤師確保修学資金貸与制度は最大2年) (4) 返還免除条件 ① 県内の一般病床と療養病床の合計が400床未満の公的病院に薬剤師として貸与年数の1.5倍の期間勤務すること ② 県が指定する3年間の研修プログラムを受講すること																			
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人													
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 薬剤師の資質向上および薬剤師確保対策事業 (役割分担) 県内に勤務する薬剤師の確保を図る。												
市町との連携状況						他県の状況	奨学金返還支援を実施している県を抜粋 石川県: 最大2,400千円(6年) 富山県: 最大10,080千円(10年) 企業が支援額の半額を負担 島根県: 最大2,880千円(月20千円×12年) 山口県: 最大1,440千円 山形県: 最大3,600千円 貸与期間の1.5倍勤務で免除												

薬剤師確保奨学金支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部健康医療局	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	支援												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	4,000			(繰入) 4,000		地域医療介護総合確保基金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					制度要求	4,000							
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	県内病院の薬剤師充足率 (目標) (%) 実績				(40) -	(40)	(45)	(50)	病院の求人数に対しての採用充足率 (アンケート調査)				
活動指標	応募人数 (目標) 実績				(5) 1	(5)	(15)	(30)					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・成果指標については、制度利用者が就職していないため、次年度に評価を実施する。 ・2月末時点での応募者は1名であり、活動指標は未達となる見込である。					薬学生を対象とした薬剤師確保修学資金貸与事業を新たに実施することにより、応募者の幅を広げ、県内病院の薬剤師の確保を図る。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
									□ 継続	□ 休止	□ 完了		
									□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

医療機関・福祉施設への緊急支援事業（電気料）

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部健康医療局	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代		
事業主体		保険薬局			事務区分	■ 自治事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	R5 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)		
事業実施方法		補助		□ 法定受託事務								■ 補助金	R6 年度
補助率		10/10		□ その他								R5 年度 経過年数 2 年	
福井県長期ビジョンにおける位置付け		分野 [4 住みやすさを高める(地域力)] 政策 [14 誰も取り残されない安心の医療・介護・福祉の充実]			関連する県の計画等		[—]						
[解決すべき問題・課題] ウクライナ問題、円安問題等に伴い、原油価格や光熱水費が高騰し、薬局の経営負担の増につながっている。ついては、電気料高騰分を支援し、経営の負担軽減につなげる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] <2020年基準消費者物価指数> 食料 24.7ポイント増 (100.0 (2020年) → 124.7 (2025年1月)) 光熱・水道 19.3ポイント増 (100.0 (2020年) → 119.3 (2025年1月))							
[事業目的] 国が実施する支援にあわせ、電気価格の高騰により経営に影響が生じている薬局を支援する。													
[事業内容] 【電気料高騰分を支援】 令和6年8～10月 25,000円/施設 (323施設) 令和7年1～3月 25,000円/施設 (324施設)													
[受益者] 県内の保険薬局						[想定される受益者数] 約320施設							
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 (実績) 事業名 —					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 (役割分担) 事業名 —						
市町との連携状況	—					他県の状況	—						

医療機関・福祉施設への緊急支援事業（電気料）

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部健康医療局	課名	医薬食品・衛生課	課長名	佐々木 富代			
事業主体	保険薬局				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助													
補助率	10/10													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額														
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移														
2月現計予算額の推移			44,252	16,175										
決算額の推移			38,750											
前年度までの 主な増減理由	令和5年度：電気料（R5.4月～R6.5月） ※R6.4月、5月はR6へ繰越 令和6年度：電気料（R6.8月～10月、R7.1月～3月）													
[成果指標等の推移]														
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標)							物価高騰対策による医療機関への支援のため成果指標の設定は困難						
	実績													
活動指標	(目標)							物価高騰対策による医療機関への支援のため活動指標の設定は困難						
	実績													
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
原油価格、光熱水費増の影響により、経営に大きな影響が生じている薬局に対し、負担軽減を図ることができた。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				